



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ 2024年3月期 決算説明資料

2024年5月20日

このプレゼンテーション資料には、2024年5月20日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変化等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。



2024年3月期 決算の概況

2024年3月期 連結業績(対従来予想比)

単位:百万円

	従来予想(2023年11月9日発表)		24年3月期		対従来予想比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	55,000	100.0	55,796	100.0	796	1.4
営業利益	▲400	—	124	0.2	524	—
経常利益	▲200	—	570	1.0	770	—
当期純利益	▲800	—	▲24,806	—	▲24,006	—
EPS(円)	▲8.41	—	▲261.00	—	▲252.58	—

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

2024年3月期 連結業績(対前期比)

単位:百万円

	23年3月期		24年3月期		対前年同期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	71,527	100.0	55,796	100.0	▲15,730	▲22.0
営業利益	10,224	14.3	124	0.2	▲10,100	▲98.8
経常利益	10,757	15.0	570	1.0	▲10,187	▲94.7
当期純利益	7,595	10.6	▲24,806	—	▲32,402	—
EPS(円)	79.67	—	▲261.00	—	▲340.67	—
設備投資額	9,236	—	4,955	—	▲4,280	▲46.3
減価償却費	9,574	—	10,362	—	787	8.2
研究開発費	3,274	—	3,613	—	339	10.4

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

2024年3月期 主要グループ会社の業績

単位：百万円

	出資比率	売上高		営業利益	
		金額	対前期 増減率(%)	金額	対前期 増減率(%)
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (100%)	13,303	22.3	1,741	21.7
(株)ハーモニック・エイディ	100%	1,922	▲16.9	▲55	—
(株)ハーモニックプレシジョン	100%	2,108	▲59.9	▲802	—
※3 哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	4,295	▲11.6	422	19.1
※4 ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	100%	16,741	4.9	1,989	▲5.6

※1 海外子会社の決算日は12月31日です。

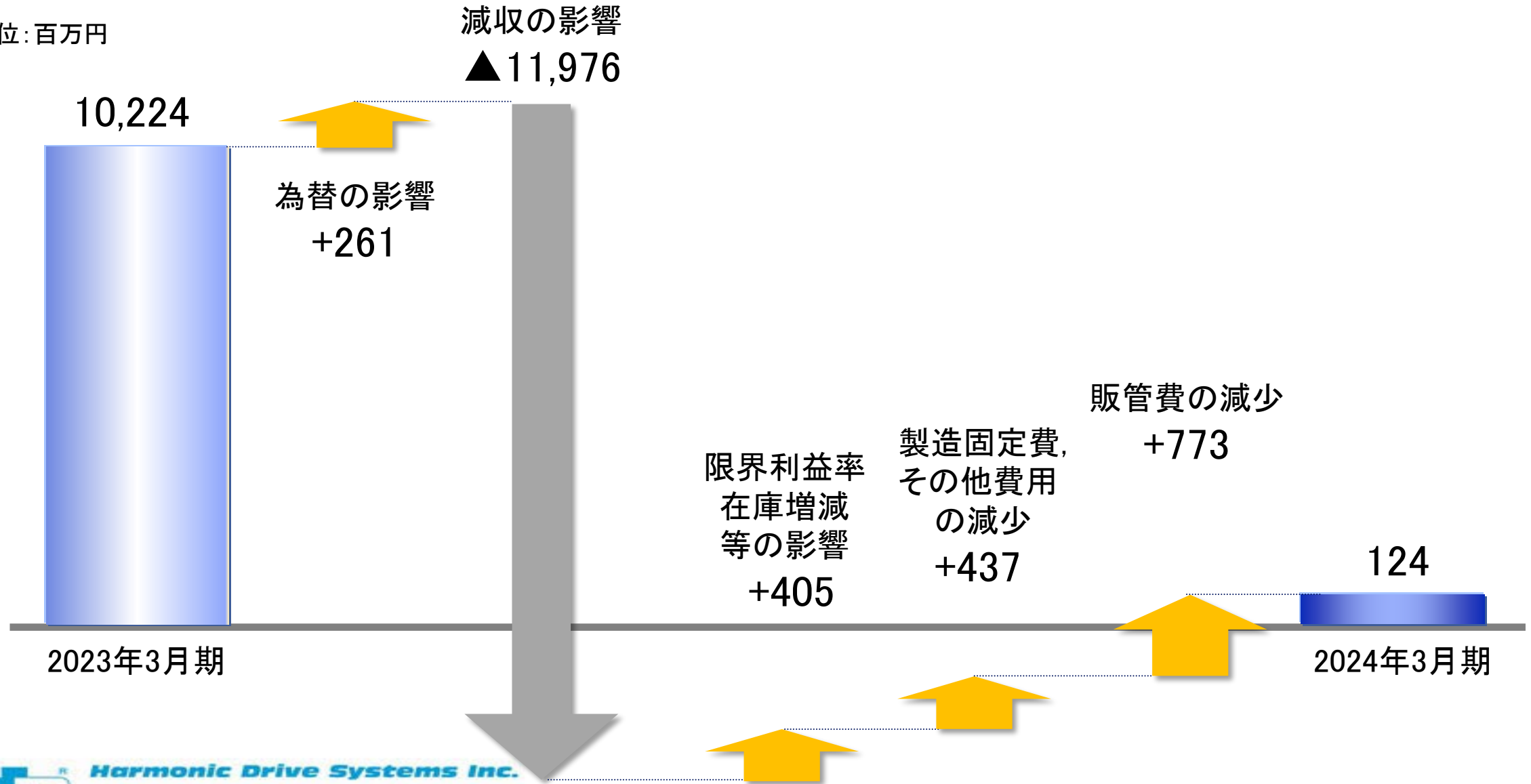
※2 為替レート 2022/12期: 1US\$ = 131.43円 2023/12期: 1US\$ = 140.56円

※3 為替レート 2022/12期: 1元 = 19.48円 2023/12期: 1元 = 19.82円

※4 為替レート 2022/12期: 1€ = 138.04円 2023/12期: 1€ = 152.00円

2024年3月期 連結営業利益 対前期比増減要因

単位：百万円



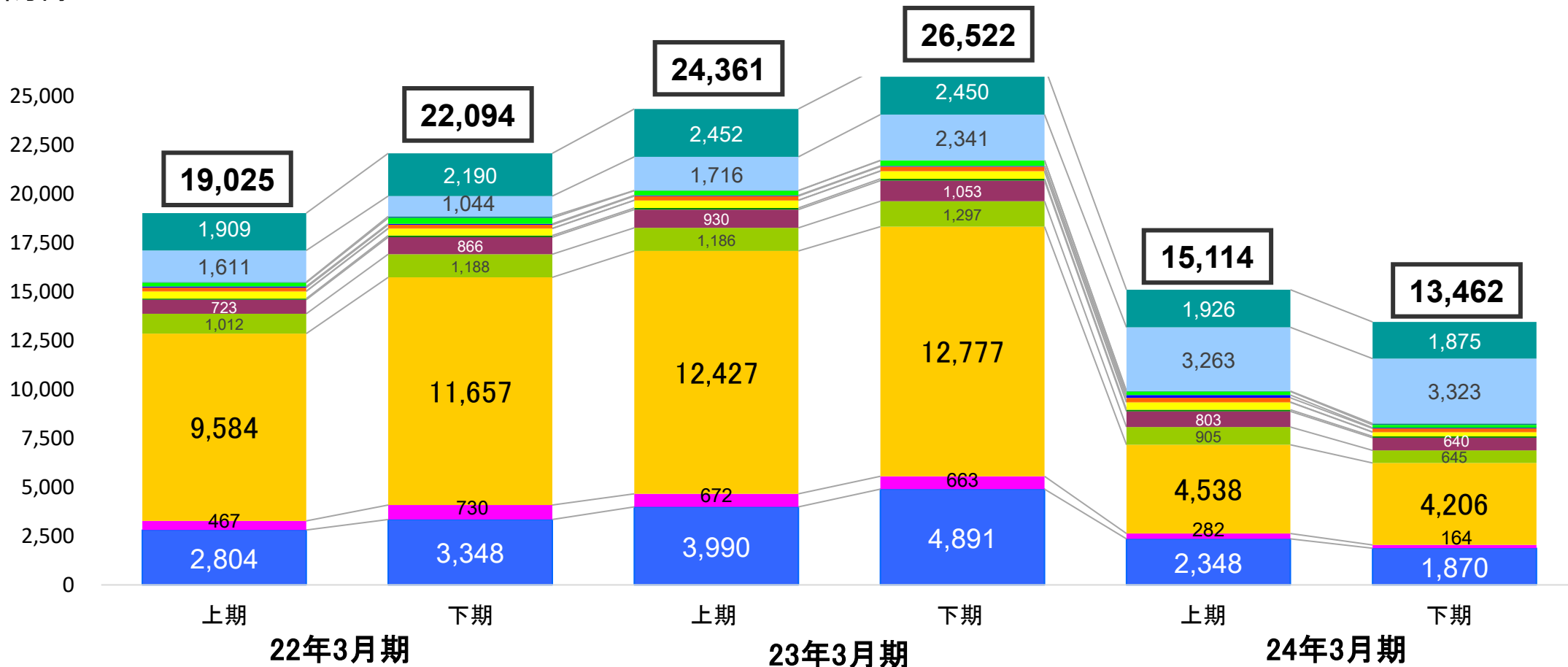
2024年3月期 単体業績(対前期比)

単位:百万円

	23年3月期		24年3月期		対前年同期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	50,883	100.0	28,577	100.0	▲22,306	▲43.8
営業利益	8,927	17.5	▲542	—	▲9,470	—
経常利益	9,378	18.4	2,288	8.0	▲7,089	▲75.6
当期純利益	6,880	13.5	▲18,460	—	▲25,341	—
EPS(円)	72.17	—	▲194.23	—	▲266.40	—
設備投資額	7,557	—	3,275	—	▲4,282	▲56.7
減価償却費	4,408	—	4,761	—	353	8.0
研究開発費	2,430	—	2,327	—	▲102	▲4.2

単体用途別売上高

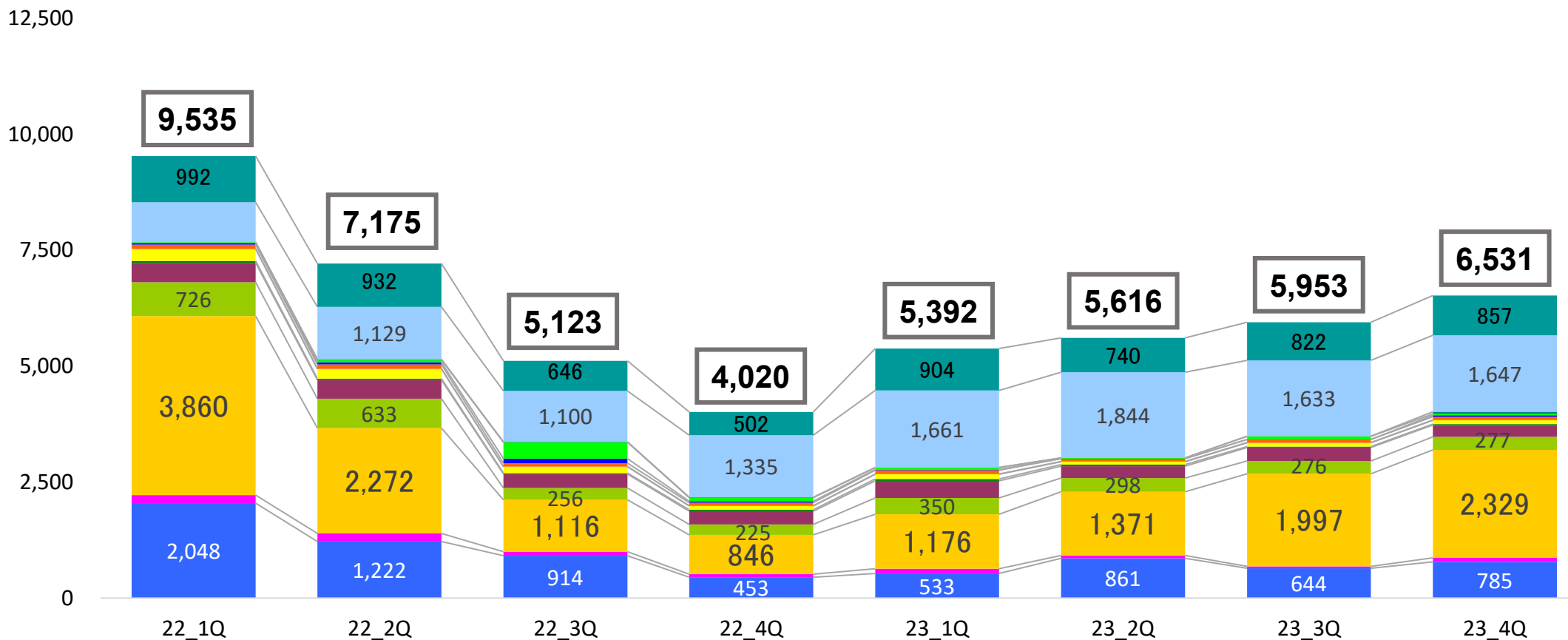
単位: 百万円



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーター向けギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機器
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- 医療機器
- 航空・宇宙
- 車載
- その他

単体用途別受注高【四半期】

単位: 百万円



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーター向けギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機器
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- 医療機器
- 航空・宇宙
- 車載
- その他

連結資産の状況

単位:百万円

180,000

160,000

140,000

120,000

100,000

80,000

60,000

40,000

20,000

0

154,336

20,812

17,573

12,501

1,287

48,926

40,332

12,901

2023年3月期

119,142

20,355

11,754

12,629

2,718

48,147

12,897

10,639

2024年3月期

◆ドイツ子会社に関連した無形固定資産(のれん等)の減損処理を実施

減損計上した科目	2023/03	2024/03
のれん	15,258	—
技術資産、顧客関係資産	24,695	12,244
合計	39,953	12,244

(百万円)

今後の減価償却費は
年間20億円程度減少
する見通し

現預金・有価証券

売上債権

棚卸資産

その他流動資産

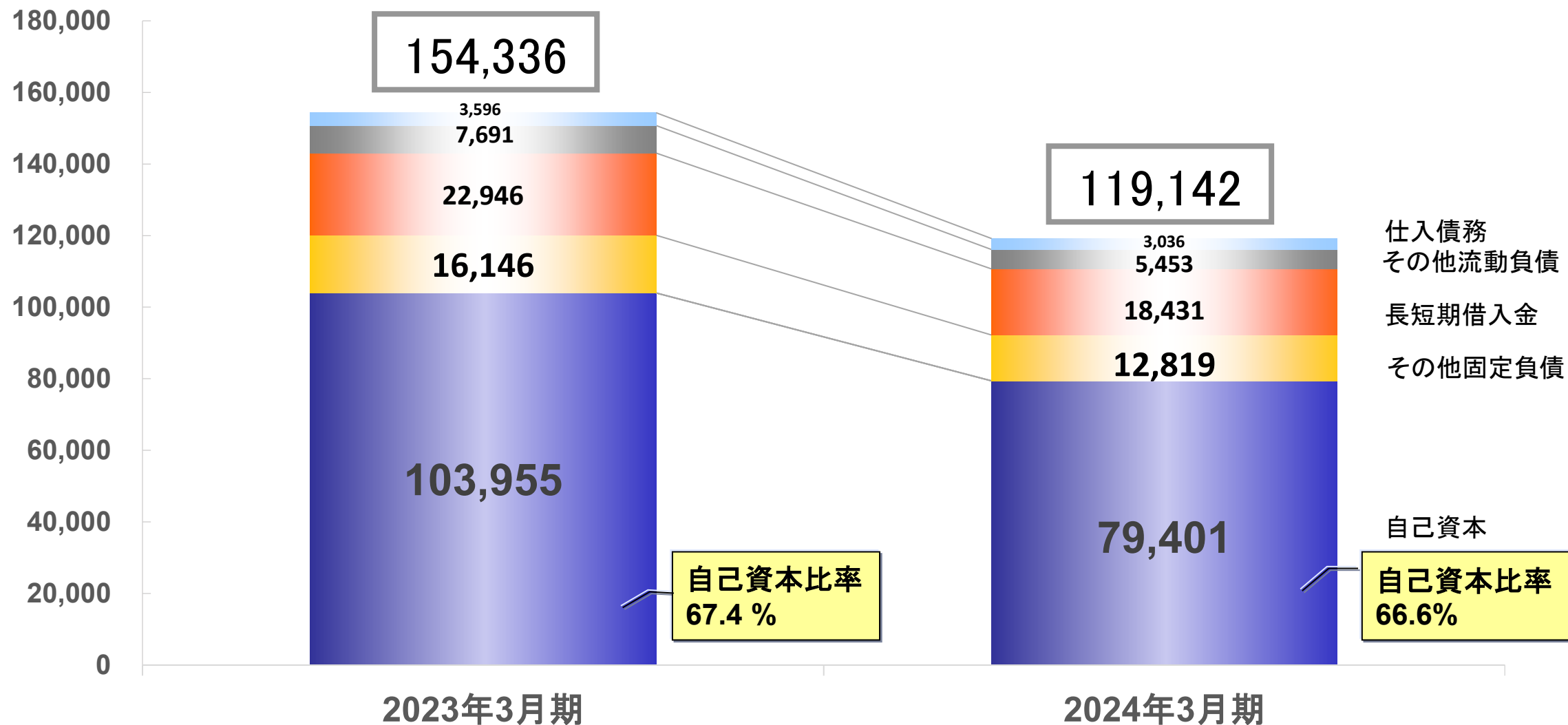
有形固定資産

無形固定資産

投資その他の資産

連結負債純資産の状況

単位: 百万円



連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

	2023年3月期	2024年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,850	12,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲8,663	▲5,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,599	▲8,122
換算差額	567	363
現金及び現金同等物の増(▲減)額	1,154	▲980
現金及び現金同等物の期末残高	19,921	18,941

2025年3月期 業績予想

2025年3月期 連結業績予想

単位:百万円

	24年3月期		25年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	55,796	100.0	58,500	100.0	2,703	4.8
営業利益	124	0.2	2,700	4.6	2,575	—
経常利益	570	1.0	2,700	4.6	2,129	373.4
当期純利益	▲24,806	—	2,000	3.4	26,806	—
EPS (円)	▲261.00	—	21.06	—	282.05	—
設備投資額	4,955	—	12,000	—	7,044	142.2
減価償却費	10,362	—	7,500	—	▲2,862	▲27.6
研究開発費	3,613	—	3,900	—	286	7.9

※25年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥142.00 1€ = ¥152.50 1元 = ¥20.00

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

2025年3月期 単体業績予想

単位:百万円

	24年3月期		25年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	28,577	100.0	34,000	100.0	5,422	19.0
営業利益	▲542	—	600	1.8	1,142	—
経常利益	2,288	8.0	600	1.8	▲1,688	▲73.8
当期純利益	▲18,460	—	450	1.3	18,910	—
EPS (円)	▲194.23	—	4.74	—	198.97	—
設備投資額	3,275	—	10,500	—	7,224	220.5
減価償却費	4,761	—	4,500	—	▲261	▲5.5
研究開発費	2,327	—	2,500	—	172	7.4

※25年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥142.00 1€ = ¥152.50 1元 = ¥20.00

2025年3月期 主要グループ会社の業績予想

単位:百万円

	出資比率	売上高		営業利益	
		金額	対前期 増減率(%)	金額	対前期 増減率(%)
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (100%)	12,000	▲9.8	1,000	▲42.6
(株)ハーモニック・エイディ	100%	2,300	19.6	1	—
(株)ハーモニックプレシジョン	100%	3,600	70.8	▲240	—
※3 哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	3,100	▲27.8	130	▲69.2
※4 ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	100%	16,780	0.2	2,000	0.5

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

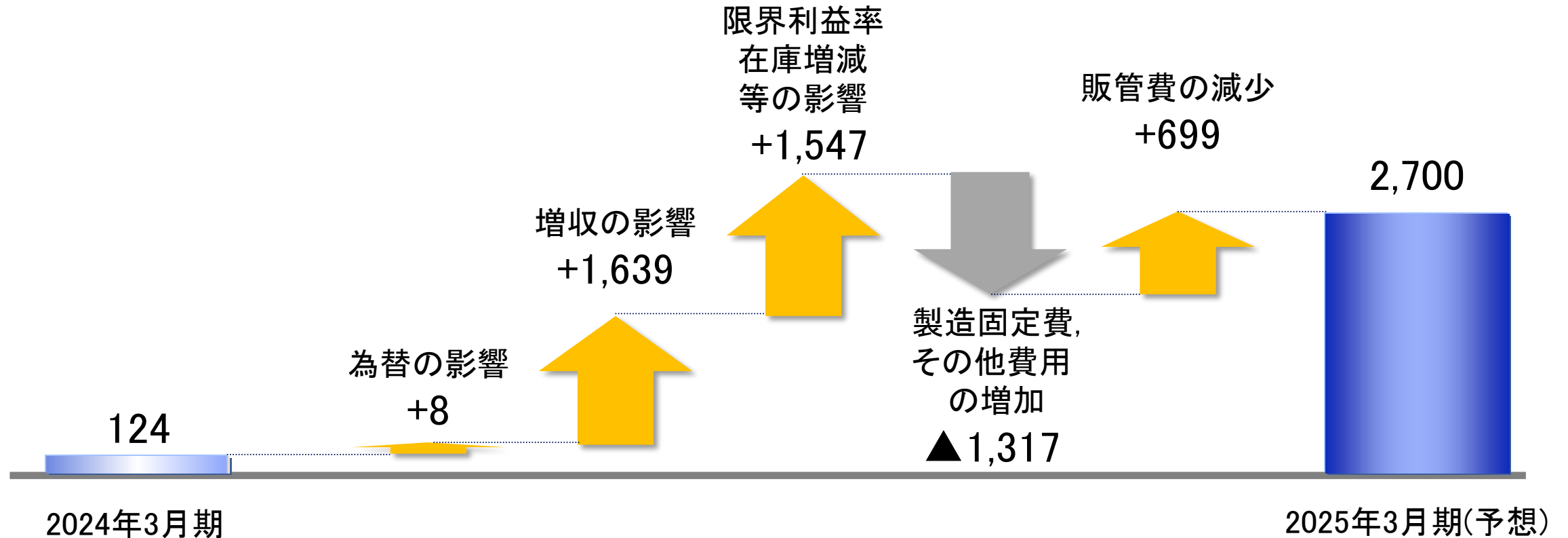
※2 為替レート 2023/12期:1US\$=140.56円 2024/12期予想:1US\$=142.00円

※3 為替レート 2023/12期:1元=19.82円 2024/12期予想:1元=20.00円

※4 為替レート 2023/12期:1€=152.00円 2024/12期予想:1€=152.50円

2025年3月期 連結営業利益 対前期比増減要因予想

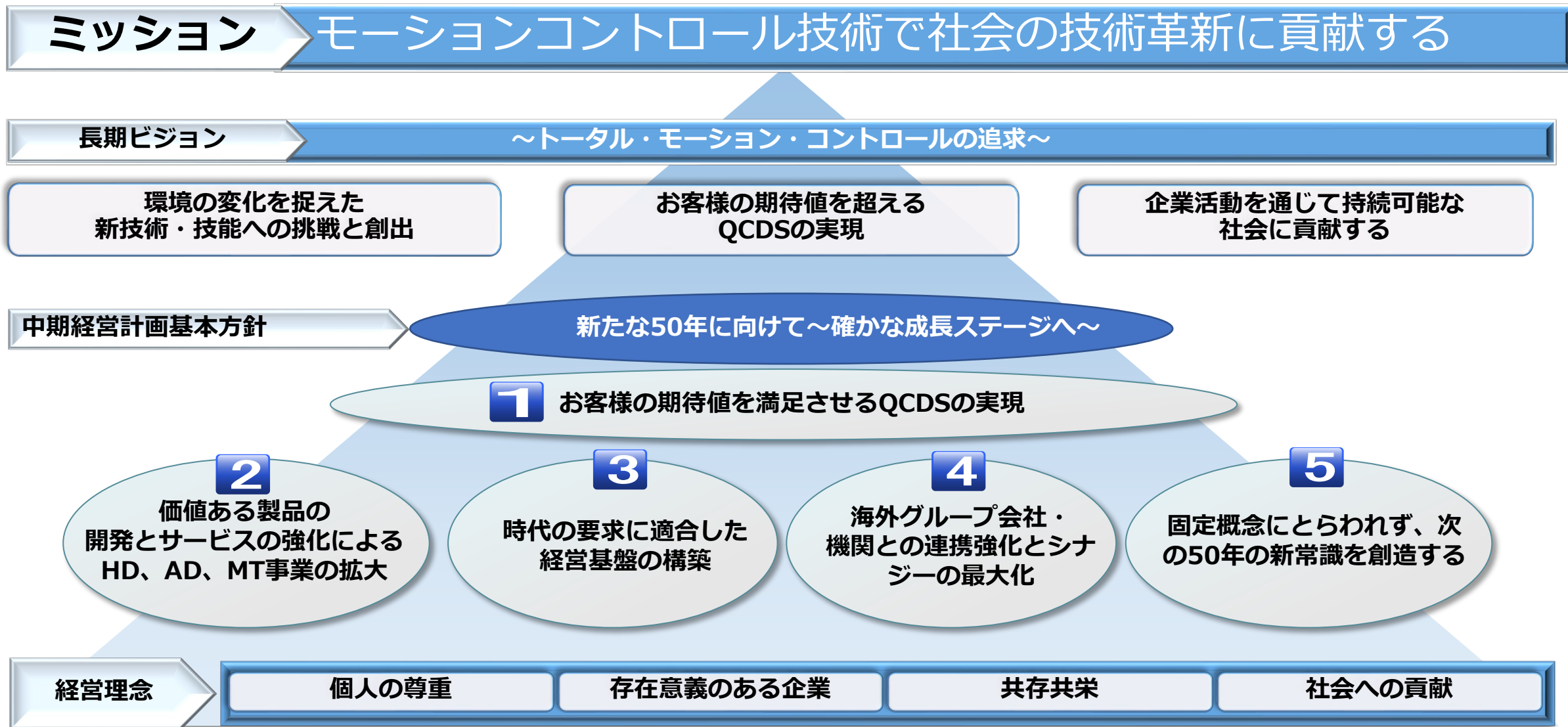
単位：百万円



今後の展望

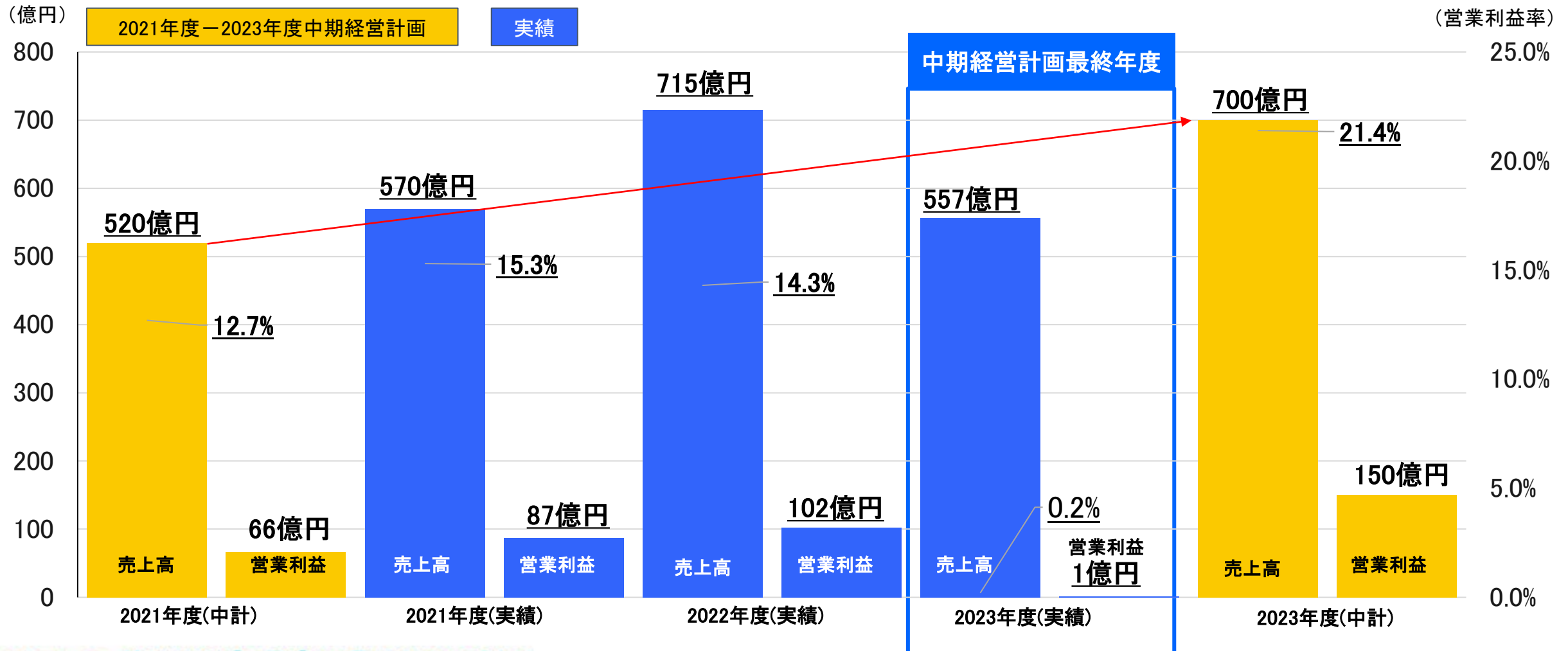
1. 前中期経営計画の振り返り (2021～2023年度)

1-1. ミッション・長期ビジョン・中期経営計画基本方針



1-2. 連結売上高・営業利益【中期経営計画対実績】

事業環境の悪化により中期経営計画の最終年度は大幅な未達



1-3. 次なる需要拡大期に向けた取り組み

2021年～2022年度

【モノへの投資】

- 有明工場の設備能力増強
(産機40,000台、車載30,000台)
➡ 1人当たり生産性は従来ラインの2倍以上
- 工場のDX化促進

2023年度

【人財への投資】

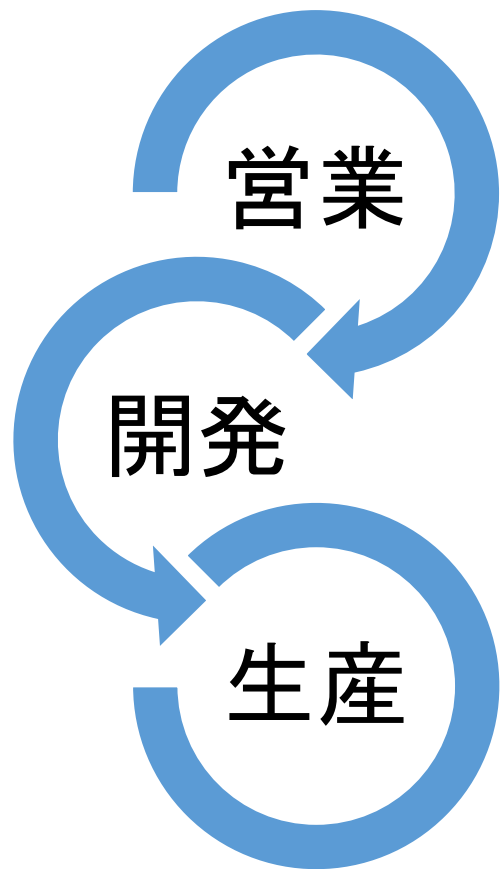
- 「ムダ取り」をキーワードとしたオペレーションの改善
- 多能工化の推進
- 作業者のさらなる技能向上

2024年度以降

【投資の成果: 需要拡大期】

- 納期対応力の向上
- 生産性向上(有明工場: 1人当たり生産性は従来ラインの3倍以上)
- 生産拡大期における持続可能なサプライチェーン体制と品質維持

1-4. お客様の課題に対する対応力向上



2021年～2023年度

✓ 新たなニーズを発掘

✓ 異業種・アドバイザー・外部研究機関の知見吸収

✓ 最新の軽量化技術・工法開発を適用した新製品開発

✓ トルクセンサー内蔵ハーモニックドライブ®開発

✓ ローカルコンテナツの採用

✓ 「世界共通品質」の維持・改善

2024年度以降

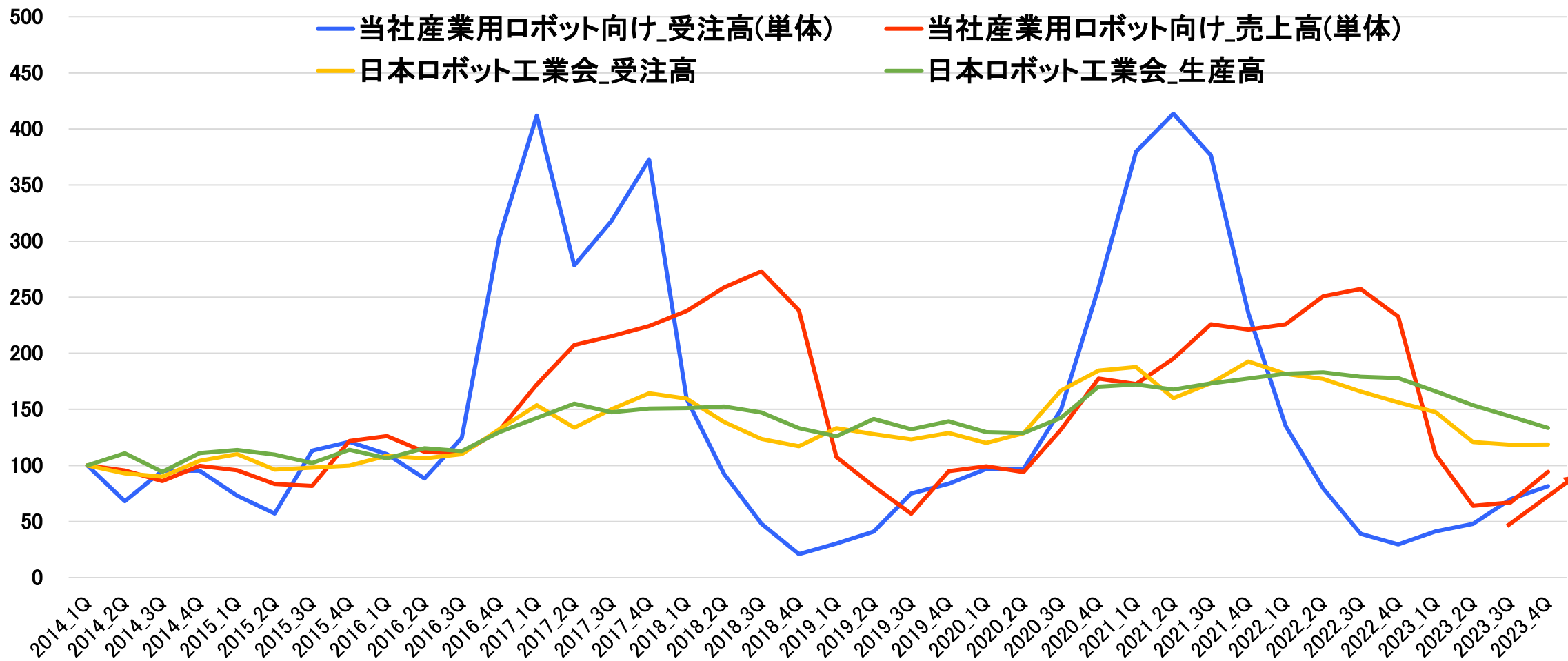
✓ 新しい用途が売上高に貢献

2. 現在の当社を取り巻く 事業環境認識

2-1. 当社受注高・売上高とロボット工業会受注高・生産高

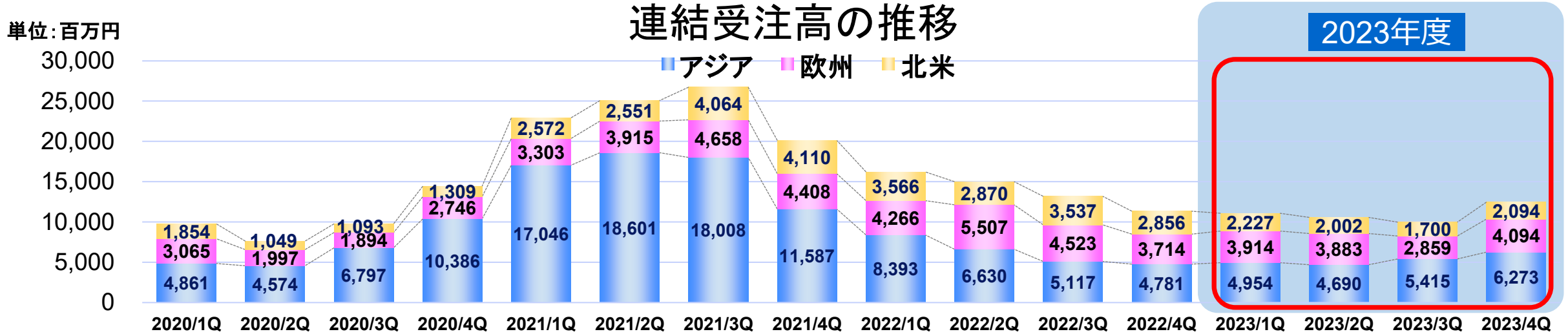
2014年1Q=100とした時の
四半期推移

当社受注額・売上高のギャップは解消



2-2. 当社製品に対する需要環境

- 国内顧客の受注調整は“大底”をつけるも...
- 中国市場の停滞により、ロボットメーカーの在庫消化は想定外の遅れ



アジア 受注は顧客在庫の積み上がり解消により回復

欧州 第4四半期の受注は一部顧客からの一括受注により増加

北米 医療向けの受注が堅調、半導体製造装置向けは一部回復の兆し

2-3. FAロボット市場

労働力不足

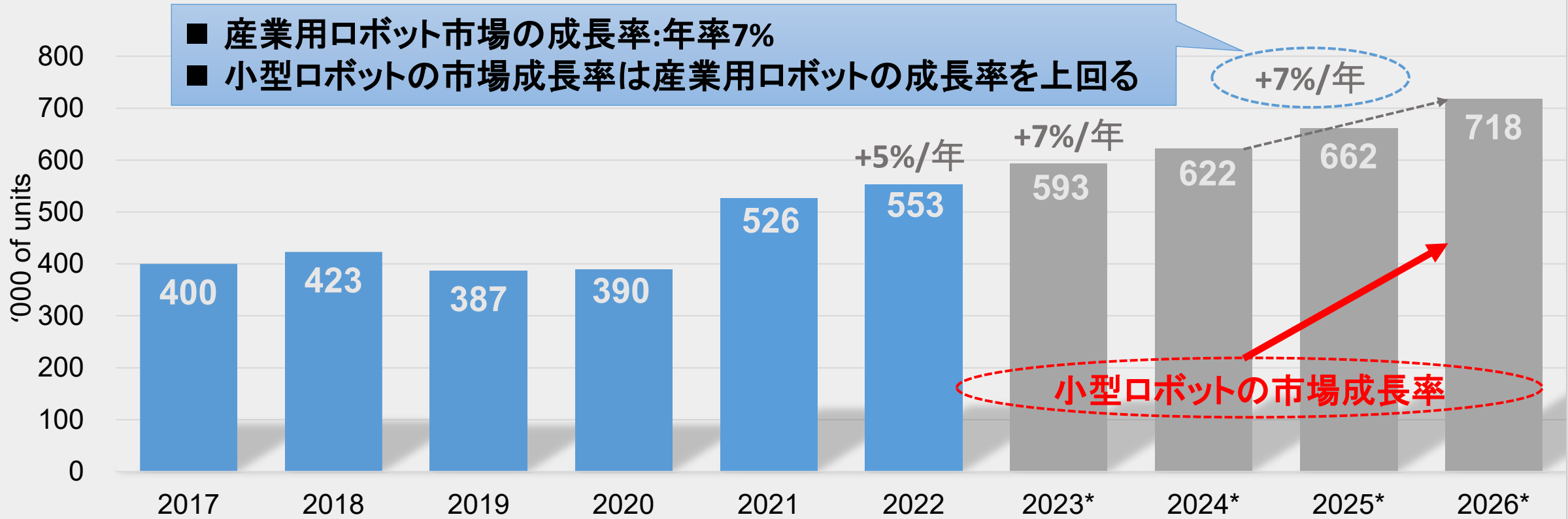


Covid-19後の
ニューノーマル

自動化
省人化 ニーズ

市場の拡大

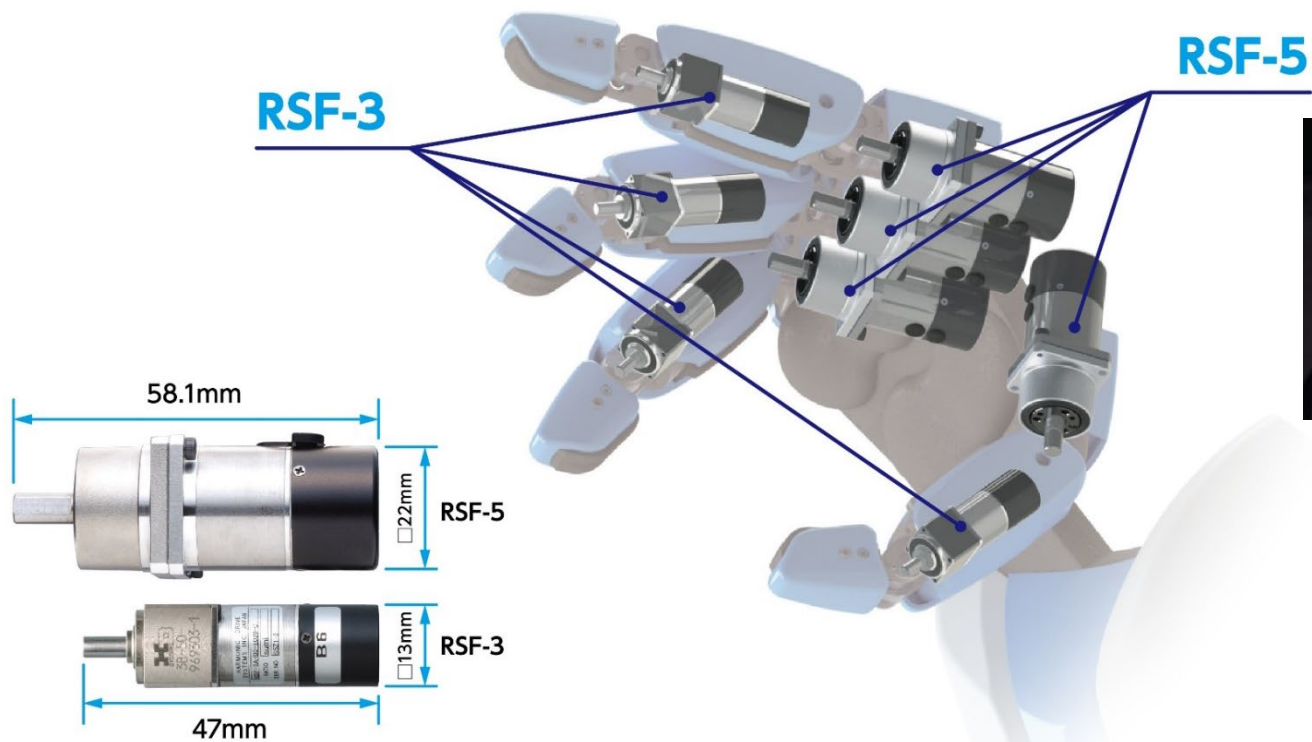
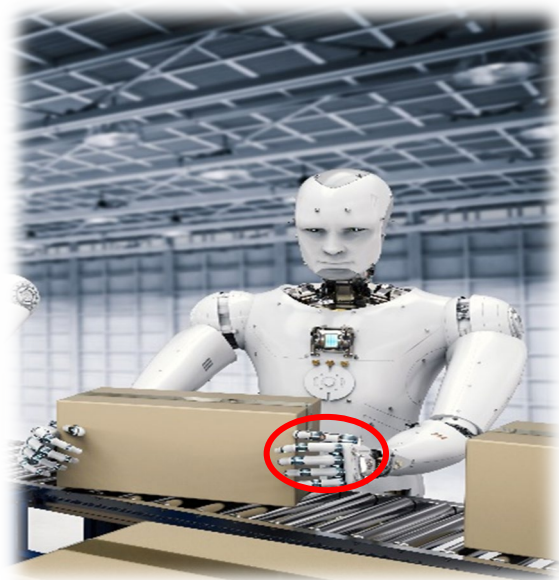
Annual installations of industrial robots 2017 -2022 and 2023* - 2026*



Source : IFR World Robotics 2023を基に当社作成

2-4. ヒト型ロボット市場

生成AIの進化を受けたヒト型ロボット市場の立ち上がり



2-5. 半導体製造装置、車載

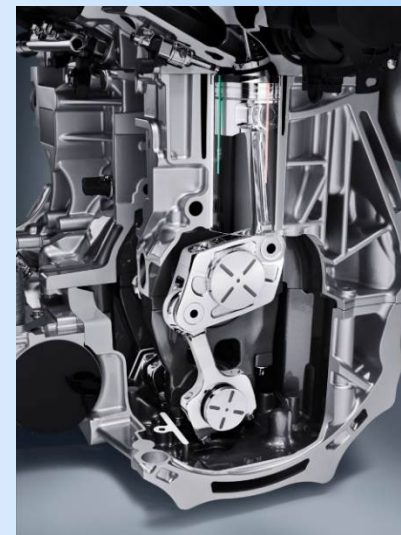
半導体製造装置

- 半導体市場が世界的に回復基調へ
- 技術が進化し続ける限り半導体需要は拡大
➡ 生成AI、デジタル化、グリーン化への対応
- 各国政府の支援が投資回復を後押し



車載:可変圧縮比(VCR)エンジン用途

- EV需要の鈍化
- ICEのプロダクトライフは長期化へ
- 長期的なトレンドは変わらないとの見方
➡ 生産ラインは新規用途向けに変更可

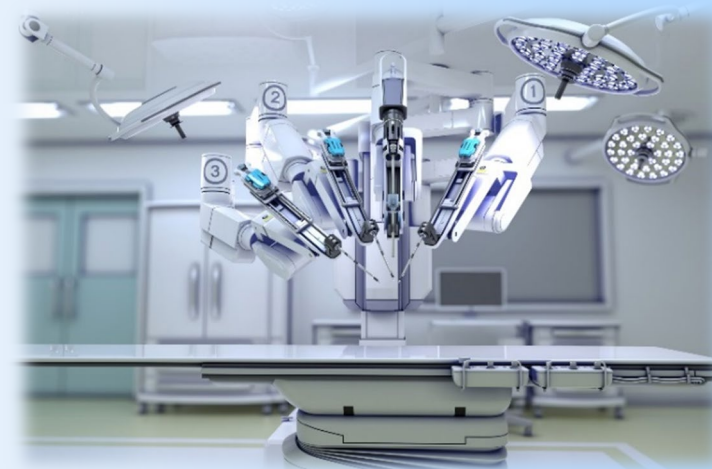


提供：日産自動車株式会社様

2-6. 手術支援ロボット、eVTOL

手術支援ロボット

- 日米欧の主要医療機器メーカーが参入
- 当社およびグループ会社が開発段階から参画
- 日米欧メーカー向けは当社グループが寡占状態



eVTOL(電動垂直離着陸機)

- より静かで環境に優しい移動手段
- 2025年大阪・関西万博においてeVTOL各社が試験的商業運航実施
- 当社グループはeVTOL向けの量産準備に着手



2-7. 宇宙

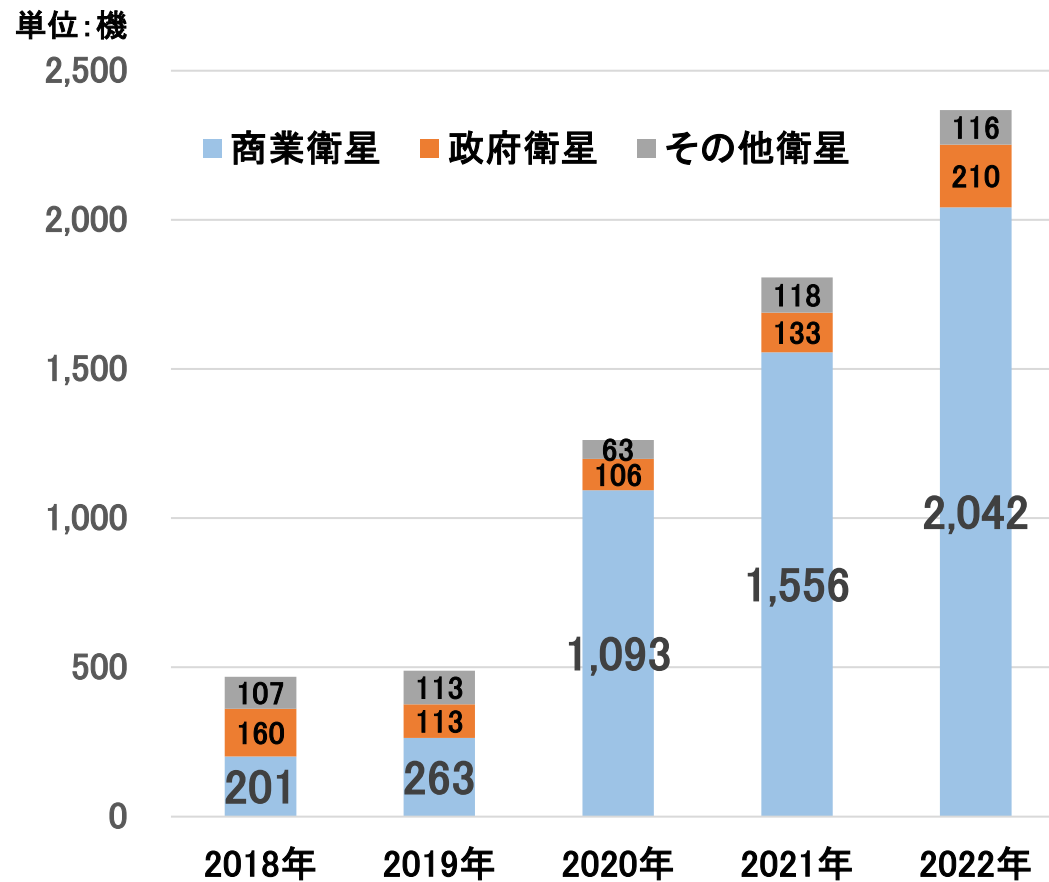
◆太陽電池パドル、アンテナ等の駆動軸に採用



提供: 宇宙航空研究開発機構(JAXA)様



◆世界の人工衛星等の打ち上げ数推移 (2018年～2022年)

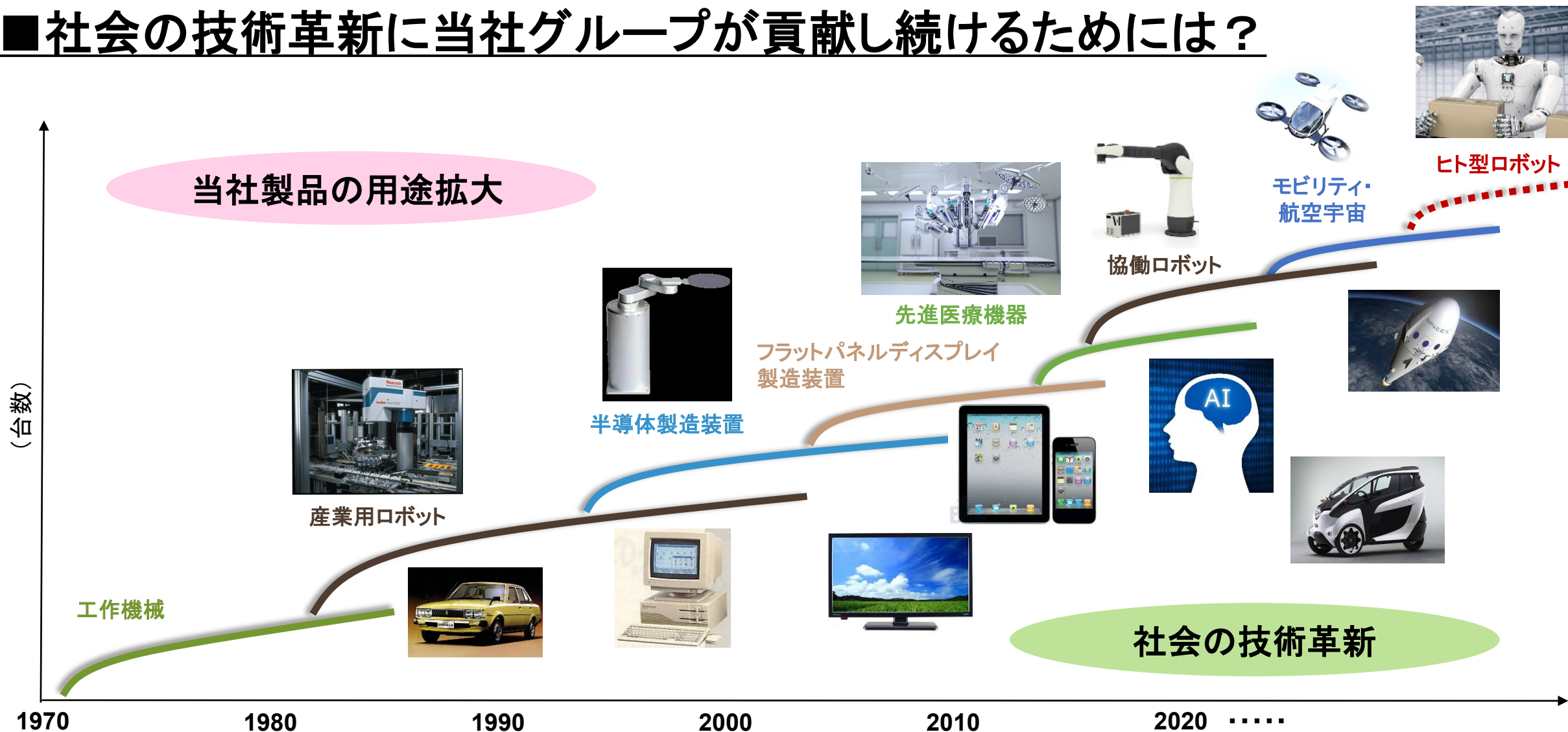


Source: 内閣府宇宙開発戦略推進事務局「宇宙輸送を取り巻く環境認識と将来像」2023年6月27日を基に当社作成

3. 新長期ビジョン 及び 新中期経営計画

3-1. 用途拡大と当社の成長

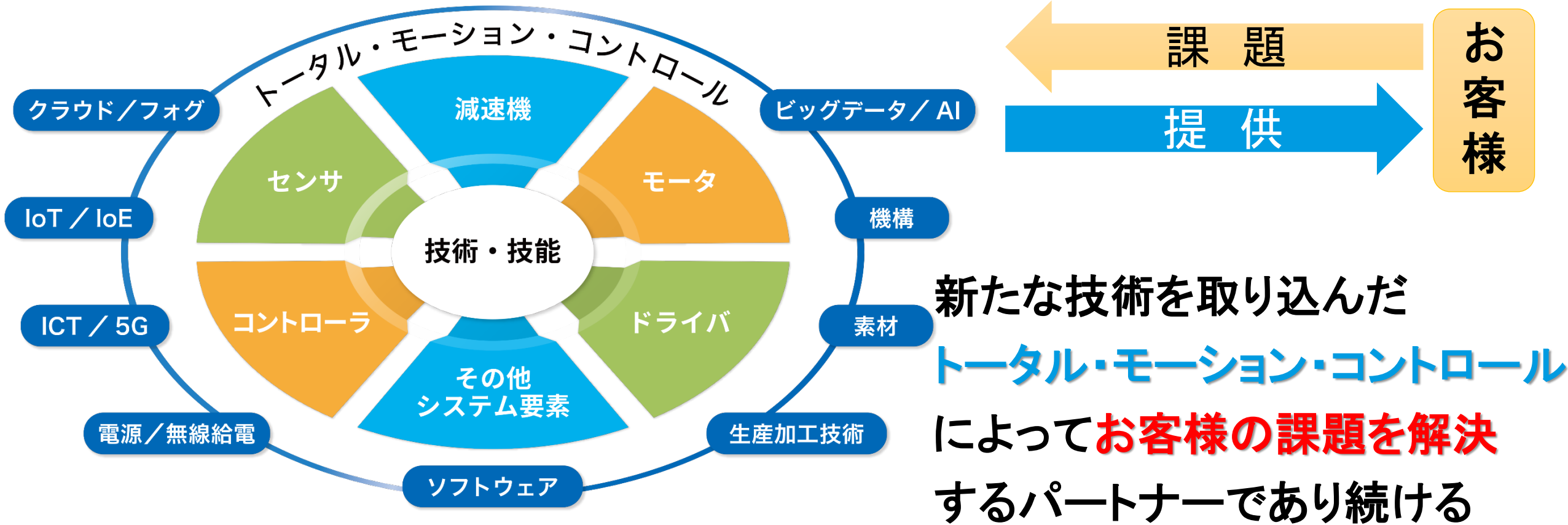
■ 社会の技術革新に当社グループが貢献し続けるためには？



3-2. トータル・モーション・コントロールによる価値の提供

新長期ビジョン

未来と調和するトータル・モーション・コントロールのベストプロバイダー



3-3. ミッション・長期ビジョン・マテリアリティ

ミッション → モーションコントロール技術で社会の技術革新に貢献する

長期ビジョン → 未来と調和するトータル・モーション・コントロールのベストプロバイダー

マテリアリティ

1. 人的資本の
価値最大化

2. お客様の期待値に
応えるQCDSの実現

3. 環境の変化に適合した
新技術・新技能への
挑戦と創出

4. 企業活動を通じて
持続可能な社会に
貢献する

5. 時代に調和
した
経営基盤の構築

3-4. 2024-2026中期経営計画基本方針

「価値創出と変革」への挑戦

①何をしていくのか

収益性を重視した全事業の持続的な成長

②そのために何が必要なのか

環境変化に適合できる経営資源（ひと、もの、かね、情報）の強化

③サステナビリティ

未来に続く企業価値向上への取り組み

3-5. 2024-2026中期経営計画 【対処すべき課題】

■長期ビジョンの達成に向け、新中期経営計画の対処すべき課題を実現

新中期経営計画で対処すべき課題

「価値創出と変革」への挑戦

1. 収益性を重視した全事業の持続的な成長

- ・新たな成長ドライバーの開拓
- ・顧客期待値に応えるQCDS+Speedの徹底

2. 環境変化に適合できる経営資源の強化

- ・個の成長と多様な脳力が発揮され、尊重される組織の実現
- ・資本効率を意識した成長投資
- ・財務基盤及びガバナンス強化

3. 未来に続く企業価値向上への取り組み

- ・サステナビリティ基本方針に基づく本格的な活動展開

マテリアリティ

(長期ビジョンを実現するための重要課題)

1. 人的資本の価値最大化

2. お客様の期待値に応えるQCDSの実現

3. 環境の変化に適合した新技術・新技能への挑戦と創出

4. 企業活動を通じて持続可能な社会に貢献する

5. 時代に調和した経営基盤の構築

長期ビジョン
(2030年)

未来と調和する
トータル・モーション・コントロールの
ベストプロバイダー

3-6. 当社グループの売上高成長予測

新たな成長ドライバーの開拓

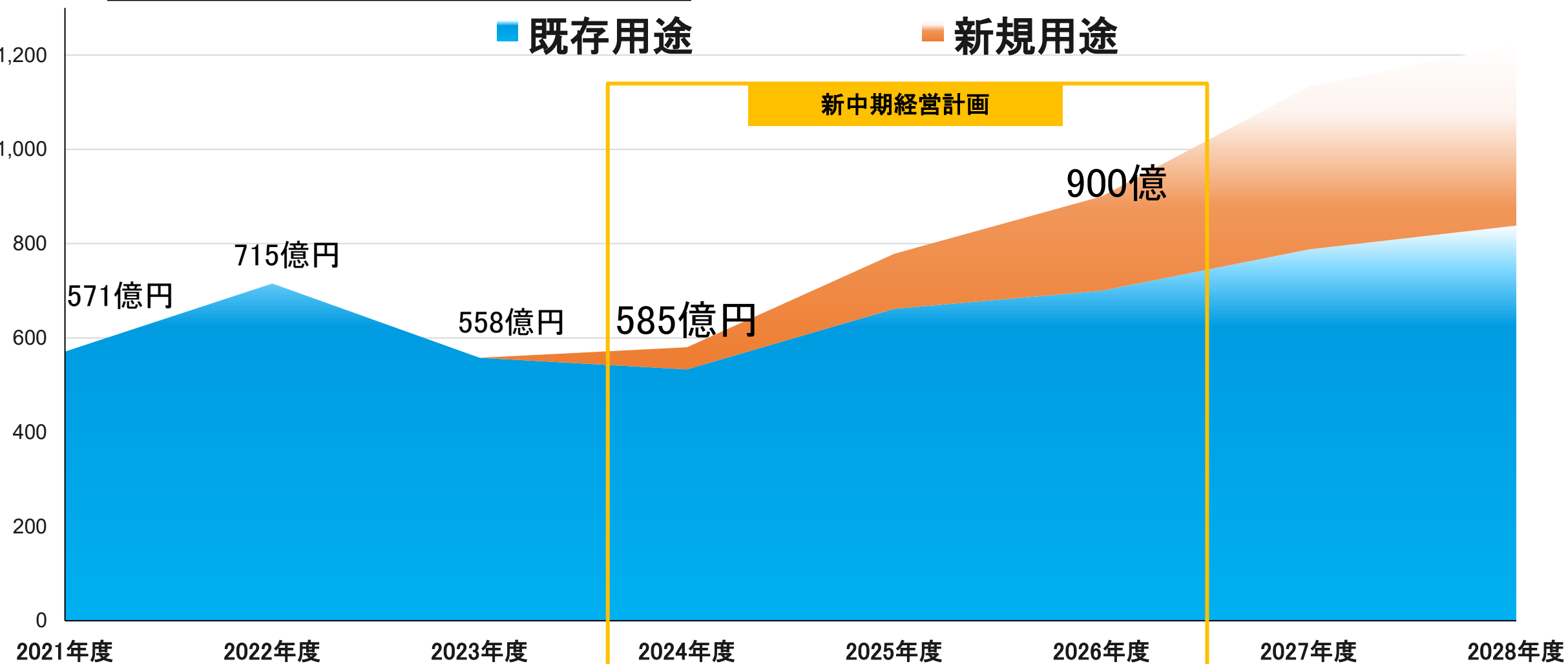
(億円)

■ 既存用途

■ 新規用途

新中期経営計画

900億



3-7. 事業機会と重点施策

新たな機会

- 先進国の労働人口減少を補う施策: ヒト型ロボット市場の台頭
- 中国市場の産業用ロボットのデモクラタイゼーション(※急速に普及)
ーハイエンド、ローエンドの2極化

※2022年全世界産業用ロボット設置台数55万台、うち中国29万台 (Source : IFR World Robotics 2023)

顧客期待値に応えるQCDS+Speedの徹底

重点施策

- 新たな市場要求に追従できる製品開発と価格対応力
 - ➡更なる小型化・軽量化の追求と工法開発
 - ➡製品の垂直統合(多機能メカトロニクス製品の充実)
 - ➡原価改善: VA・VEに特化した製品設計の追求と調達先の拡大
 - ➡生産性向上: 技能向上+「自動化、DX化」によるQCの徹底的な追求

3-8. 2026年度(中計最終年度)のP/L目標

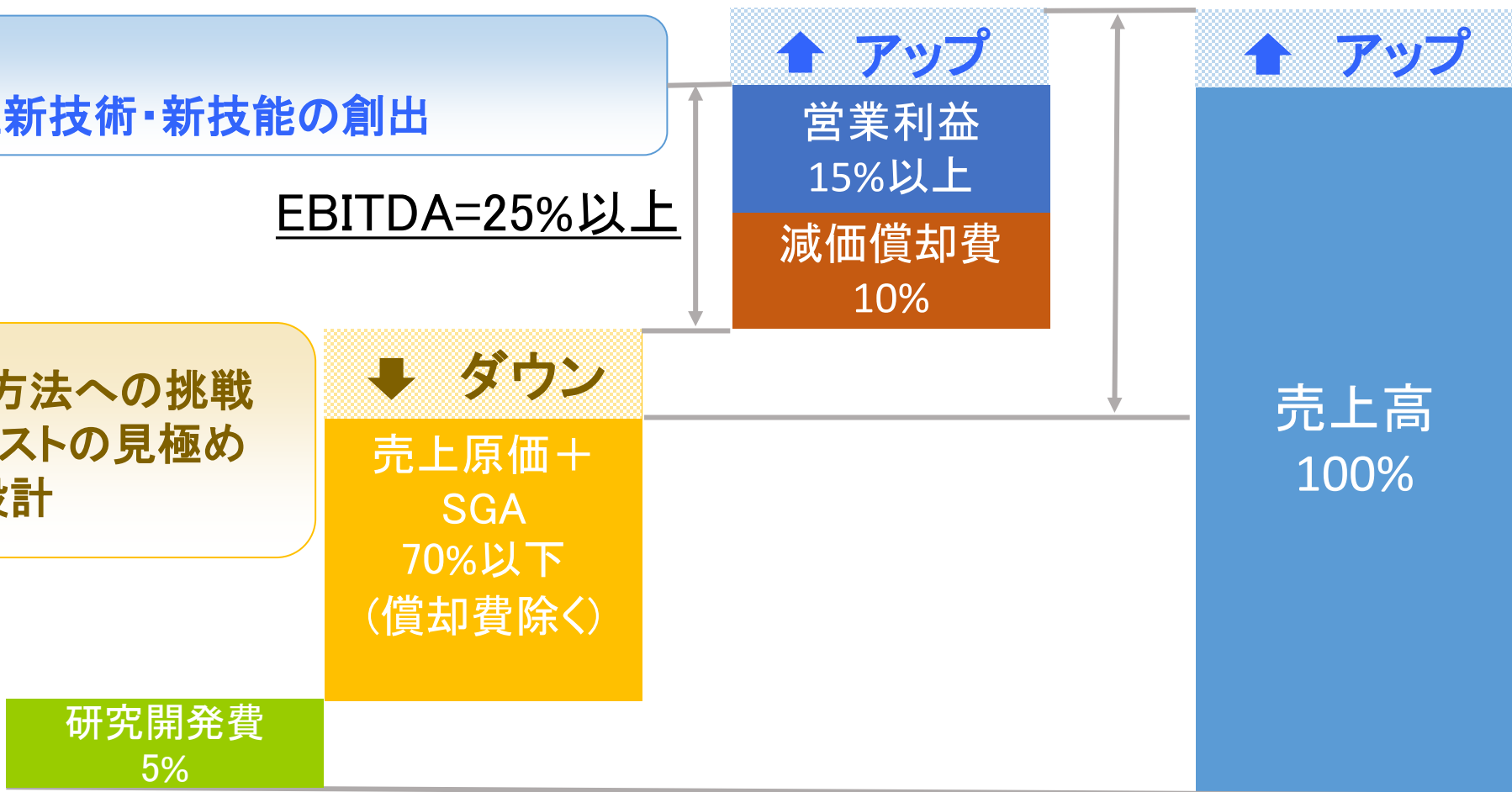
収益性を重視した全事業の持続的な成長

重点施策

- 価値の創出
→ 次世代用途に適合した新技術・新技能の創出

重点施策

- 低コストを実現する製造方法への挑戦
- 調達先の拡大と品質とコストの見極め
- VA/VEに特化した製品設計



3-9. 2024-2026経営目標と長期ビジョン

		2023年度	2026年度(中計最終年度)経営目標		目指す姿(2030)
成長性	売上高	557億円	900億円	・市場の拡大を当社の成長につなげる	1,000億円以上
収益性	営業利益率 EBITDA率	0.2%	15~20%	・高付加価値製品の提供とコスト削減	20%以上
		18.8%	25~30%		30%以上
効率性	ROE ROIC※	—	10%以上	・株主資本コスト以上	10%以上
		—	10%以上		10%以上
安定性	自己資本比率	66.6%	70%以上	・成長性と安定性を両立した財務基盤を構築	70%以上
株主還元	配当性向	10円/株	30%以上	・業績拡大による増配	30%以上
設備投資	設備投資額 (3年合計)	198億円	275億円	・当社の成長を支える設備投資	
開発技術	開発費 (3年合計)	99億円	123億円	・新技術・新技能を創出	

※ROIC=NOPAT(税引き後利益)÷投下資本(株主資本+有利子負債)



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2023～2024年トピックス

4月：(株)ウィンベルは(株)ハーモニックウィンベルに商号変更

4月：Paper Lab本格稼働開始

6月：信州安曇野ハーフマラソンにゴールドパートナーとして協賛

6月：経済安保の供給確保計画に認定

1月：統合報告書(HDS REPORT 2023) 発行

1月：令和6年能登半島地震災害に対する支援(1,000万円)



統合報告書>>>

